

## トリモチの木ーヤマグルマ (学名: *Trochodendron aralioides*)

[ヤマグルマ科 ヤマグルマ属]



▲ヤマグルマの花期は5月～6月



▲上向きに車輪のように葉がつく

只見町で「トリモチ」「モチノキ」と呼んでいるのは、一般的にはヤマグルマと呼ばれる樹木です。これらの地方名は、ハエや小鳥の捕獲に用いた粘着物質“トリモチ”をこの樹木から採取したことに由来します(現在、トリモチでの鳥類の捕獲は禁止されています)。トリモチの材料となる樹皮の採取は、5月末から夏土用が最適と言われています。ヤマグルマを伐採して、枝を払い、樹皮を剥ぎます。剥いだ樹皮はモチイド(モチノキの樹皮を漬ける池)に半月間ほど漬けて表皮を腐らせた後(秋まで漬けるという説も有)、残った内樹皮を臼と杵でつき、出てきたノリ状の物質を水で揉んでゴミを取り除き、トリモチを作りました。黒谷入や入叶津などにあるモチイドという地名は、かつて小屋掛けをしてトリモチ採りをした場所だといいます。江戸時代から大正初期にかけては、新潟からトリモチの仲買人がきて、樽で運搬されたそうです。

ヤマグルマは、日本では山形県南部以南から九州まで広く分布する常緑高木です。山地の尾根部を中心に分布し、急な斜面の岸壁に生えることもあります。基本的には低木状ですが、大きいものでは高さ20mにもなります。只見町では、会津朝日岳登山道叶ノ高手付近にはまとまった林を見ることができ、要害山の登山道沿いなどやせ尾根にも見られます。

### 企画展

#### 「守りたい！只見の野生動植物

ー只見町の野生動植物を保護する条例ー

期 間:6月25日(月)まで

場 所:ただみ・ブナと川のミュージアム 2階ギャラリー

#### 企画展アーカイブ「只見の手工芸」

期 間:6月27日(水)～7月23日(月)まで

場 所:ただみ・ブナと川のミュージアム 2階ギャラリー

### 研修会

#### ◆町公認ガイド・野生動植物保護監視員フォローアップ研修

「雪ふる里山を舞台とした環境教育の実践

～自然体験を通して『伝えたい』こと、『伝わる』こと」

講 師:小林 誠 氏

(十日町市立里山科学館 越後松之山「森の学校」キョロロ 学芸員)

日 時:6月16日(土)13:30～15:30

会 場:ただみ・ブナと川のミュージアム

※一般の方もご参加いただけます(入館料300円がかかります)

詳しくは、  
只見町ブナセンター  
までお問い合わせ  
ください